



JPS Anniversary Years 2025-2027が開幕！

長谷川修司 (会長 shuji@surface.phys.s.u-tokyo.ac.jp)



令和7年(2025年)の新年を迎え、会員・会友の皆さまにとって実り多き一年となりますよう祈念申し上げます。

今年2025年は、ユネスコが定めた国際量子科学技術年(ハイゼンベルクらの行列力学の論文から100年目の記念年)です。来年2026年は、当会創立80周年、再来年2027年は、東京数学会社(のちの日本数学物理学会)の設立から数えて創立150周年と、記念すべき年が続きます。そのため、2024年には記念事業臨時委員会を立ち上げて広報委員会と共同して以下に述べる各種記念事業を準備してきました。その主旨は、学会Webページ*1に述べられていますが、この記念すべき3年間に契機にして、物理学が果たした歴史を振り返り、物理学の新たな進展を期するだけでなく、物理学と社会との関わりを強化させ、次世代につなげていきたいという願いであり、そのもとに下記の4つの観点から記念事業を企画しました。

1. 物理学を文化として

- ・「物理の日」の制定：すでに会員・会友メーリングリストに何月何日を「物理の日」にすべきかアイデアの募集を流しましたが、募集からわずか1週間で100件を超える提案が寄せられ、その後も多数寄せられました。それら候補日に対して会員・会友の投票を現在行っており、それをもとに物理の日を決定します。その結果は本年3月31日の定時総会で発表します。物理の日をアウトリーチ活動のよりどころとして、記念事業の終了後も末永く活用して欲しいと願っています。

- ・「量子フェス」の開催：本年6月14日・15日に日本科学未来館において、量子物理学をイメージした音楽と映像に浸るイベントを応用物理学会からの協力も得て開催します。このとき演奏される交響曲は、「量子」にインスパイアされて作曲されたものです。この開催のために(会員・会友に限らず)クラウドファンディングで資金を集め

ます。ご寄附に対する返礼品を設定しており、寄附額に応じて現地で音楽と映像を鑑賞いただくこともできます。また、その他の皆様には後日会員・会友専用ページで公開される動画にてご覧いただけます。

- ・「物理かるた」や記念グッズの企画：本会オリジナルのグッズを企画し、協力企業から販売します。たとえば、物理ネタの「物理かるた」を制作しました。例えば、㊦「あなたと私の間の万有引力」、㊧「宇宙を調べる重力波望遠鏡」など、小学生から大人まで楽しみながら様々な物理に触れるきっかけになるグッズです。その他にオリジナルタンブラーやノートなどもそろえています。上記の量子フェスのクラウドファンディングの返礼品としても提供いたします。

2. 物理学を若者や市民に

- ・科学雑誌「ニュートン」の特集号：2025年2月号にて、本会会員のアドバイスをもとに量子力学100年の特集号が刊行されます。

- ・日本科学未来館と国立科学博物館での展示：本会会員のアドバイスをもとに、量子物理学や宇宙物理学、量子コンピュータなどに関する展示を行います。

- ・「物理壁新聞」：最新の研究やその基礎となる物理、あるいは物理出身者のキャリアパスなどの情報を満載した壁新聞を作成して、定期的に全国の高校に配付します。

- ・「物理クイズ」：小中高校生・一般市民に向けた物理に関するクイズを、本会WebページやX、会誌などに継続的に出題し、若者の物理に関する関心を高めます。その問題を多数蓄積し、物理検定試験のようなものに発展させたいと考えています。

- ・平和宣言(仮)：ドイツ物理学会と共同で発出する予定です。物理学と戦争の関りの歴史を踏まえ、物理関連研究者の役割と決意を、一般市民に向けて表明します。

3. 歴史に学ぶ

- ・「物理遺産」の制定：物理学史に残る業績に関わる実験装置や書籍・草

稿・ノートなどの文字資料、場所、建物などを物理遺産として指定して保存に協力するとともに、そのデジタル・アーカイブを整備します。

- ・歴史に関する記事：学会誌や「大学の物理教育」誌で、我が国の物理学史や物理教育史、本会の歴史に関する記事をシリーズ化して掲載し、その後まとめて書籍としても刊行します。

4. フロンティアの拡張

- ・オンライン物理用語辞典：今、それぞれの専門分野では次々と新しい専門用語が出てきており、ちょっとでも専門分野がずれると何を意味するのか分からないことも少なくありません。そこで、専門的な物理用語の日英表記とその簡単な解説を付けたオンライン辞典を作成して専門用語の標準化を目指します。その作業は、記念年の3年間で終わるわけではなく、その後も継続的に更新されていくでしょう。

- ・英文教科書の出版：わが国では、学部生向けから研究者向けまで物理学の優れた教科書が多数出版されていますが、それらの翻訳・加筆版を英文で海外の出版社から出版し、海外への情報発信を強化します。本会がその仲介をする計画を進めています。

- ・本会主催国際会議の開催：不思議なことに物理学全分野にわたる国際会議を本会は主催したことがないようです。そこで、まだ確定していませんが、記念年の最後の2027年の年次大会を、(参加登録費8,000円のまま)国際会議として開催できないか議論を始めました。もし、それが可能となれば、会議期間中に150周年を祝う盛大なバンケットを開催してバトンを繋いできた先人たちに感謝したいと考えています。

以上、すでに始まっている事業もあれば、まだアイデア段階の企画もありますが、記念の3年間に契機に学会活動を格段に拡張したいと考えています。会員・会友の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

English-translated version is on the web of JPS.

(2024年10月21日原稿受付)

*1 <https://www.jps.or.jp/150th/prospectus.php>